

関係者各位

沖縄県北中城村 YORISOI（よりそい）隊一同
（報告担当：大城 健）

令和 8 年度 東日本大震災及び熊本地震被災地における 復興支援活動報告と御礼について

拝啓

秋冷の候、貴地域の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より私ども被災地復興支援ボランティアチーム「YORISOI 隊」の活動に対し、格別のご高配と温かいおもてなしを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は、9 月の東北応援事業、ならびに 10 月の熊本応援事業の実施に際しまして、現地の皆様には多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、すべての行程を無事に終え、沖縄県北中城村からのまごころと復興へのエールを直接現地へ届けるとともに、かけがえのない温かい交流の時間を共有させていただきました。

東日本大震災から 15 年、熊本地震から 10 年という節目を迎え、力強く復興へ歩みを進めている現地の皆様の姿に、私ども一同、改めて深く感銘を受けました。継続して同じ地域と繋がり、寄り添い続けることの大切さを胸に、現地での活動内容をここに謹んでご報告申し上げます。

敬具

記

1. 事業概要

派遣事業名 / 実施主体	実施期間 / 滞在日数 / 参加人数
東北応援事業（派遣主体：北中城村 YORISOI 隊）	令和 8 年 9 月 4 日（金）～ 9 月 7 日（月） [3 泊 4 日] / 20 人
熊本応援事業（派遣主体：北中城村 YORISOI 隊）	令和 8 年 10 月 17 日（土）～ 10 月 19 日（月） [2 泊 3 日] / 8 人

2. 主な活動実績・現地での交流内容

【東北応援（福島県新地町・大熊町、宮城県南三陸町）】

福島県新地町役場・新地町社会福祉協議会 復興状況視察、新地町とのフレンドシップ交流会

（大堀武町長、岡崎利光副町長、石田さとみ社協事務局長、加藤憲郎前町長、目黒静雄前議長、富田いさ子前社協事務局長、小泉修平前新地町災害ボランティアセンター長他）

大熊町なつまつり（9/5）での炊き出し・体験ブース出店

（沖縄そば・ジュース：250 食炊き出し、しっくいシーサー体験：20 人、さんご鈴体験：20 人）

南三陸町歌津地区（9/7）での伝統文化・ものづくり体験

（しっくいシーサー体験：20 人、さんご鈴体験：20 人、ペットボトルキャップエイサー太鼓お守りづくり：20 人）

大熊町内（第一原発・中間貯蔵施設等）の視察、原子力災害伝承館の見学

南三陸町での町の復興状況視察（高橋芳喜氏案内）および佐藤仁元町長による語り部研修



▲釣師防災緑地公園に



▲新地町とのフレンドシップ交流会



▲大熊町福島第一原発中間貯蔵施設視察



▲大熊町なまつり沖縄そば配布、しっくいシーサー・さんご鈴体験



▲大熊なつまつり



▲南三陸町歌津泊浜生活センターでのしっくりシーサー・さんご鈴・エイサー太鼓ストラップ体験

【熊本応援（熊本県大津町）】

- 大津町「第26回福祉まつり」（10/18）での炊き出し・体験ブース出店（沖縄そば・ジュース：300食炊き出し、しゅくいシーサー体験：10人、さんご鈴体験：50人）
- 大津町社協・被災地状況（R8年地震被災地（宇土市等））の視察研修
- 大津町配食ボランティアの皆様との交流（サンゴ鈴、手作りお守り20セット贈呈、安里屋ユンタ踊り、カチャーシー教室）
- 大津町町長（金田英樹様）や現地ボランティアの皆様との交流会



▲大津町社会福祉協議会にて（金田町長・社協会長他）

3. 活動の成果と結びにかえて

今回の訪問を通じ、10年、15年と「継続」して関わり続けることで生まれる信頼関係と、絆の深まりを改めて実感いたしました。被災された方々の不安に耳を傾け、沖縄・北中城村からの「ソーッと応援していく」細く、長く、しつこく、優しい、息の長い支援の姿勢は、現地の方々との温かい心の交流へと繋がっています。

現地で皆様からいただいた「ありがとう」の言葉とたくさんの笑顔を胸に、私どもはこれからも皆様に寄り添い、共に歩んでまいりたいと存じます。素晴らしい時間を本当にありがとうございました。

東北^{支援}

熊本^{支援}

広島^{支援}

私たちのこのころと

町の人達のこのころ

へんがったことに

このころから感謝

新井町 南三陸町 大熊町 玉川村
須賀川市 大津町 呉市
Special thanks!!